

平成 26 年度事業・活動報告

特定非営利活動法人 旭川 NPO サポートセンター

【事業の成果】

平成 26 年度、旭川 NPO サポートセンターでは、ファミリーサポートセンター（育児型）事業と子育て交流活動推進事業の 2 つの事業を旭川市より新たに受託しました。4 月には事務所の移転もあり、移転先の神楽の事務所が、子育て支援事業の拠点となっています。

また指定管理を行っています旭川市市民活動交流センターの利用者も、11 月には、市民活動交流センター開設以来利用者数 30 万人を達成致しました。

中心市街地活性化の拠点、街中交流館のフードテラスのワンディシェフカフェは、当センターの役割も終え、NPO 法人ひだまりが、運営主体となりました。

昨年同様、旭川市の環境部委託事業も旭川市市民活動交流センターで実施することができ、企業や市民活動団体との協働により、進めることができました。

市民活動交流センターで実施する事業が、市民活動団体同士の交流や、活動団体の活動を広く市民に知っていただく機会となって活動の活性化にも結び付くものであってほしいと願います。

■事業名（旭川市指定管理事業）

旭川市市民活動交流センター指定管理業務

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

旭川市市民活動交流センターCoCoDe に関して、

- 1) 施設の使用承認／管理運営／維持管理
- 2) 市民活動団体の登録
- 3) 市民活動に関する情報収集・提供／相談・コーディネート／学習機会の提供
- 4) 自主事業 他



【事業期間】

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

写真

【事業内容・事業成果・課題等】

1)施設の使用承認／管理運営／維持管理について

① 利用件数 3,876 件、利用者数 95,592 名、利用料金 7,638,468 円。

（前年度 利用件数 3,509 件、利用者数 74,420 名、利用料金 7,220,420 円）。

② 施設清掃業務、施設敷地内管理業務、点検等その他業務について所定通り実施。

2) 市民活動団体の登録について

① 市民活動情報サイト登録 335 件（前年度 297 件）。

② 市民活動交流センター登録（団体）479 件（前年度 429 件）。

③ 市民活動交流センター登録（個人）4 件（前年度 4 件）。

3) 市民活動に関する情報収集・提供

- ① CoCoDe 通信の発行～毎月 900 部～950 部発行。
- ② 利用者懇談会の実施～利用者ニーズの把握の為、4 月と 10 月に指定管理者と利用者 6 名による会議実施。

4) 相談・コーディネート

- ① 日常の相談・コーディネート～NPO 設立相談等。
相談総数 95 件。内訳：個人 25 件、市民活動団体 62 件、企業 8 件)。
(前年度 59 件)

5) 学習機会の提供について

- ① 渡邊一雄さん講演会
日 時：6 月 4 日 (水) 9:30～11:00
テーマ：手ごたえのある生き方を探る～いかに良く生きよく死ぬか～
参加者：36 名
- ② 情報発信のエキスパートになろう
登録団体対象に広報の基礎知識や情報サイトでの発信の仕方を学んだ。
日 時：10 月 31 日 (金) 18:00～19:30
参加者：8 名
- ③ 埋葬を考える講演会
核家族化から、お墓を管理する家族がいないなどの理由から無縁墓なども増えてきており、お墓に対する考え方も近年は変化してきている。こうした中、樹木葬という埋葬の仕方について可能性を探ります。
日 時：平成 27 年 3 月 1 日 (日) 14:00～15:30
テーマ：自然に還るお墓という選択
講 師：上田裕文氏 (札幌市立大学デザイン学部空間デザインコース講師)
- ④ NPO 会計講座&個別相談会
日 時：平成 27 年 3 月 22 日 (日) 13:30～16:30
講 師：税理士の佐藤はるみ氏
参加者：7 団体 12 名

6) 自主事業 他について

- ① CoCoDe トークサロン
毎月一回様々なゲストによるテーマを茶話会形式で実施。参加総数 185 名。
- ② CoCoDe キッズワールド
日 時：5 月 5 日 (月) 10:00～16:00、市内の市民活動団体等が集まり科学実験・音楽演奏など、子ども向けの体験イベントを開催。参加総数 1,200 名
- ③ 北彩都地区ごみゼロ作戦
北彩都地域にある、公的施設及び、周辺町内会が協働で北彩都地域の春の一斉ゴミ拾いを行った。
日 時：5 月 11 日 (日) 9:00～11:00
参加者：122 名 約 90 kg のごみ収集
- ④ キャンドルナイト in 旭川

6月21日(土) 17:00~21:00、蜜蝋キャンドル作りやエコバッグ作り、古着のばくりっこ市、地産地消のスローフードの提供のほか、ミュージックフェスタを開催した。屋外では科学館の協力の元、天体観測が行われた。

参加者：280名

⑤ 北彩都防災セミナー

北彩都地域の公共施設職員と、周辺町内会の住民が参加し、7月7日午前7時に地震が発生したとの想定のもとDIGワークショップを実施した。

日時：平成26年7月7日(月) 10:00~12:30

講師：安田睦子氏(インタラクシオン研究所所長)

参加者：35名

⑥ 野外劇団楽市楽座

8月1日~8月3日、昨年度に引き続き家族3人で全国を行脚する、野外劇団楽市楽座を迎えて屋外広場で開催。今年度も劇の途中に地元の方のパフォーマンスも披露された。

参加者：165名。

⑦ 持続可能な地域づくりのための協働取組情報交換会

日時：10月9日(木) 18:00~19:30

参加者：23名

共催：北海道環境パートナーシップオフィスとの協働事業。

⑧ 情報発信のエキスパートになろう！

登録団体対象に広報の基礎知識や情報サイトでの発信の仕方を学んだ。

日時：10月31日(金) 18:00~19:30

参加者：8名

⑨ 秋のCoCoDeまつり

主にCoCoDeに市動団体登録されている団体を対象に、活動成果の発表および展示販売の場を提供し、また、市民活動団体同士の交流を促進するために開催した。

日時：11月3日(月) 10:00~16:00

参加者：850名。

⑩ クリスマスキャンドルナイト

「電気を消してスローな夜を」をテーマに温暖化防止のイベントを実施。クリスマスマーケットやフェアトレードショップ、エコバック作りや、ホールで、ミュージックフェスタの開催、スローフードの提供などがあった。

日時：12月20日(土) 13:00~19:00

参加者：380名

⑪ パワーアップカフェ&新年交流会

日時：27年1月17日(土) 17:00~20:00

1部「つながり」をテーマに、ワールドカフェWSを実施。

2部 交流会

参加者：75名

⑫ あさひかわ雪あかり/キャンドルナイト in 雪あかり

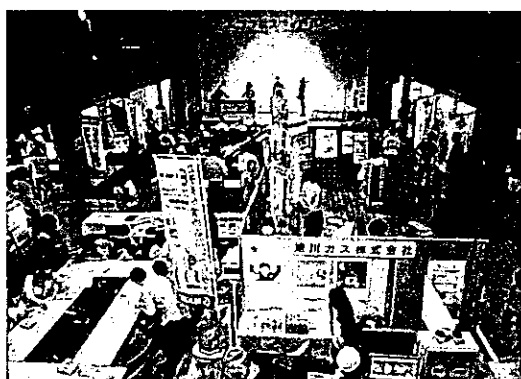
日 時：平成 27 年 2 月 6 日～2 月 11 日

あさひかわ雪あかり実行委員会と協働して実施。2 月 6 日には屋外では雪や氷で作ったキャンドルに火を灯す点灯オープニング。7 日は屋内ではライブ演奏や絵本の読み聞かせ。手作りキャンドル体験やシフォンケーキ・コーヒーなどの提供があった。

■事業名 (旭川市環境部委託事業)

環境イベント企画運営業務

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター



【目的】

市民や事業者（民生部門）における温室効果ガスの更なる低減に向けた行動の推進を図ると共に、子どもの頃から環境問題等について考えてもらう機会とするため、小学生等を対象とした環境イベントを市・NPO・事業者（企業）が協働で開催する。

【事業期間】

平成 26 年 5 月 23 日～平成 26 年 8 月 26 日まで

【事業内容・事業成果・課題等】

- 1) イベントの企画
- 2) 開催日時：平成 26 年 7 月 26 日（土）10:00～16:00
- 3) 開催場所：旭川市市民活動交流センターCoCoDe（旭川市宮前通東）
- 4) テーマ：「エコフェスティバル～キッズも楽しくエコ体験！～」
- 5) 参加者数：790人
- 6) 内容
 - ・省エネ機器、太陽光パネルなど環境に優しい商品の展示
 - ・エコバッグ・蜜蝋キャンドル作成
 - ・樹脂粘土ストラップ作成、包丁手研ぎ実演
 - ・ペットボトルキャップでモザイクアート
 - ・LEDランプ工作、ミニソーラーカー実演
 - ・親子で整理収納講座、こどもエコクイズ
 - ・あさびー、カムイエース、環境忍者えこ之助の写真撮影会

- ・照明比較体験，シャワー比較体験
- ・電気自動車の展示，給電実演
- ・環境市民団体，環境活動を行っている個人等による活動紹介，壁新聞の展示
- ・環境ゲーム体験，ばくりっこ市（古着交換会）
- ・固形石けん作成，おがくずアート，マイエンザ作成
- ・ペーパービーズ作成

- ・講演会『家庭でできる省エネルギー』

講師：一般財団法人北海道電気保安協会 広報部 主査 平井 仁志

内容：家庭での電気の使われ方から，省エネルギーのポイント，統一省エネラベルの説明などがあつた。また，照明について白熱電球とLEDの比較や，冷暖房やその他家電製品の省エネ方法，待機電力などについて講演した。

- ・エコクッキングデモンストレーション

講師：北海道地球温暖化防止活動推進員宮森芳子氏

保温・保冷調理を使った調理の説明と実演

メニュー：「石焼き風ビビンバ」「オレンジゼリー」

- ・エコクイズラリー抽選会・ギター演奏・エコ川柳表彰式

- ・あさっぴー，カムイエース，環境忍者えこ之助の写真撮影会

- ・エコ川柳募集・展示

旭川市民を対象にエコに関する川柳の募集を行った。旭川市ではエコ通勤の取組を推進していることもあり，本年度は新たにエコ通勤部門を設け，エコ自慢部門と分けて募集した。エコ自慢部門 68 句と，エコ通勤部門 34 句の併せて 102 句応募があり，会場に掲示した。

投票・掲示期間：平成 26 年 7 月 19 日（土）9:00 ～ 7 月 26 日（土）13:00

表彰式：平成 26 年 7 月 26 日（土）14:30～

【課題等】

- ①エコ川柳の応募者が固定化してきたことや，企業にとっては，出展が売り上げ増に結び付かないことなどがあり，企業の出展の反応は良くない。もっと環境に関心のない市民にも広がっていく取り組みや活動が必要。

■事業名 (旭川市及び周辺7町委託事業)

ファミリーサポートセンター事業・上川中部子ども緊急さぼねっと事業



■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

これまで当団体が一市七町から委託されてきた、「上川中部子ども緊急さぼねっと事業」に加え、「ファミリーサポートセンター事業育児型」を旭川市より受託した。

「上川中部子ども緊急さぼねっと」とは宿泊を含め、臨時的・突発的なニーズに、予め登録している地域の人が子どもを預かる事業で、子どもを預かって欲しい「利用会員」と、子どもを預かる「スタッフ会員」の橋わたしを行うことにより、地域の子育て支援・児童の福祉の向上を図ること目的とします。



ファミリーサポートセンター「育児型」とは地域において子育ての援助を受けたい方「依頼会員」と、子育ての援助を行いたい方「提供会員」が会員になり、お互いに地域のなかで助け合いながら子育てをする会員制の相互援助活動です。

【事業期間】

平成26年4月1日～平成27年3月31日

上川中部子ども緊急さぼねっと

【事業内容】

- 1) 利用会員拡大のため、1市7町及びハローワーク、保育所、学童保育施設等に周知広報
- 2) 年2回スタッフ会員登録のための子育て支援者養成講座実施
 - ①前期 7月7日(月)/9日(水)/11(金)/15(火)/17(木)/18(金) 受講生 18名
 - ②後期 10月20日(月)/22日(水)/24日(金)/27日(月)/29(水)/31(金) 受講生 18名
- 3) スタッフ会員に対して年2回レベルアップ講習会実施
 - ①日 時：平成26年11月28日(金) 10:00～12:00
テーマ：「生と性の大切なお話」
～いのちってあったかい！いのちってすごい！を伝えるために～
講師：山崎 幸子氏(助産師)
参加者：21名
 - ②日 時：平成26年2月27日(金) 10:00～11:30
テーマ：「障がい児とともに」
講師：廣岡 輝恵氏(児童デイサービス さぼ一とnavi代表取締役)
参加者：16名
- 4) 利用会員入会手続及びスタッフ会員更新手続業務
- 5) 依頼時の利用会員とスタッフ会員の連絡調整
- 6) 関係機関等との情報交換、連携を図るための会議

- 7) 月毎に市へ報告及び助成請求
 8) 年1回さぼねつと通信発行
 9) ホームページ更新 (入会・利用状況)
 10) 毎月最終金曜日午前「すりーAの会」実施
 11) 旭川市利用料助成に伴うファミリーサポートセンターと合同説明会
 3月27日(金) 参加者 53名

【事業成果・課題等】

- 1) 会員数 利用会員 761名 (H26年度新規登録者 190名)
 スタッフ会員 135名 (H26年度新規登録者 15名)
 2) 依頼総件数 771件 (656件) ()は前年度件数
 コーディネート件数 768件 (654件)・他機関紹介 (3件)
 ・病気預かり 305件 (223件)・宿泊 12件 (36件)・元気預かり 161件 (145件)
 ・送迎 172件 (44件)・キャンセル 118件 (99件)
 *キャンセルはコーディネート後、当日または翌朝に連絡のあったものである

年々登録者、依頼件数は増加しているが、スタッフ会員の登録者はあまり増えてはいない。子育て支援者養成講座全課程修了者のみ登録資格を有しているために、受講者の日程調整が困難なところもある。また、スタッフ会員がパート就労などしていることもあり、利用会員とスタッフ会員の連絡調整に手間がかかることもあり、支援するスタッフ会員の固定化がみられる。

保護者が体調を崩している家庭への支援もあり、保護者と子ども両方のサポートもある。安心して子育てや仕事を続ける事が出来る環境作りとして役割を果たしている。

H26年子育て支援者養成講座内容 (27時間)

子育て支援とは	旭川市子育て支援部子育て相談課
身体の発育と病気	北海道療育園副園長 林 時伸 氏
心の発達とその問題	旭川赤十字病院第1小児科部長 諏訪 清隆 氏
病児・病後児保育の基礎	道立旭川高等看護学院地域看護学科 本田 真子 氏
病児・病後児保育の基礎	保健師 野原 暁美 氏
保育の心	旭川大学短期大学部幼児教育学科非常勤講師 柴田 協子 氏
子どもの遊び	拓殖大学北海道短期大学非常勤講師 大和 正枝
子どもの世話	旭川市立神楽保育所所長 多田 恭子 氏
子どもの栄養と食生活	旭川市保健指導課栄養係管理栄養士
子どもの安全と事故	旭川市消防署
事業概要	旭川NPOサポートセンター
望まれている支援のあり方	旭川NPOサポートセンター

ファミリーサポートセンター「育児型」

【事業内容】

- 1) 会員の募集、登録業務
- 2) ハローワーク、保育所、学童保育施設等に周知広報
- 3) 提供会員登録のための子育て支援者養成講座年2回実施（上川中部こども緊急さぼねっとと合同 上記表の☆印受講）
登録者：19名（7月：7名、8月：1名、11月：11名）
- 4) 依頼会員と提供会員の事前打ち合わせの調整
- 5) 依頼時の相互援助の連絡調整
- 6) 会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための意見交流会実施
①日 時：平成27年1月23日（金）10:00～11:30
テーマ：ワークショップ「援助の課題と解決」
参加者：20名
- 7) 関係機関等との情報交換、連携を図るための会議
- 8) サブリーダーの情報交換を行うサブリーダー会議毎月実施
- 9) 提供会員のレベルアップ講習会年2回実施（1回はこども緊急さぼねっとと合同開催）
①日 時：12月2日（火）
テーマ：「発達障害について」
講師：諏訪 清隆氏（旭川赤十字病院第一小児科）
参加者：23名
②日 時：2月27日（金） 合同レベルアップ研修会
テーマ：「障がい児とともに」
講師：廣岡 輝恵氏（児童デイサービス さぼーとnavi代表取締役）
- 10) 月毎に市へ報告及び助成請求
- 11) 年1回通信発行

【事業成果・課題】

- 1) 会員数 依頼会員 798名（H26年度新規登録者23名のうち子育てサポーター養成講座受講修了者4名含む）
提供会員 288名
両方会員 98名
- 2) 依頼総件数 3,385件（キャンセル148件）
援助総件数 3,237件
 - ① 保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り 543件
 - ② 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 473件
 - ③ 保育所・幼稚園の帰宅後の預かり 11件
 - ④ 学童の放課後の預かり 58件
 - ⑤ 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり 348件
 - ⑥ 学童保育から帰宅後の預かり 4件

⑦ 子供の病気時の援助	2 件
⑧ 子供の習い事等の場合の援助	581 件
⑨ 保育所・学校等の休み時の援助	98 件
⑩ 保護者等の外出の場合の援助	40 件
⑪ 保護者等短時間・臨時的就労の場合の援助	14 件
⑫ 保護者の冠婚葬祭の外出、他の子供の学校行事の場合の援助	27 件
⑬ 保護者等の病気、その他急用の場合の援助	6 件
⑭ その他	1,032 件

*キャンセルは依頼予約後、当日に連絡のあったものである。

この1年経過してみるとその他が1,032件と非常に多い件数である。これは保育園への送迎と学童保育所から習い事への送迎が1/3をしめている。ファミリーサポートセンター事業が見守り・預かりから、送迎へとシフトしてきており、依頼会員の意識のズレが生じているのではないと思われる。依頼会員と提供会員のマッチング（事前打ち合わせ）は提供会員が登録時から時間が経過することにより、家庭環境や仕事に従事するなど、状況の変化が生じてしまうことで、マッチングに結び付かなくなるケースが多い。そのためマッチングに時間がかかり依頼会員には不便をおかけすることもあり、課題となっている。

■事業名 (旭川市委託事業)
子育て交流活動推進事業

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

子育ては親だけでなく、地域社会全体の支えが大切ということから、子育てに関する、様々な関係機関や団体などが連携して、保育所や、幼稚園に通っていない児童を家庭において養育している全ての保護者がいつでも子育てについて相談でき、また、保護者同士や子育て経験者等と交流できる環境づくりを行う。



旭川市内には子育て中の親が自主的に活動する育児サークルや、地域住民で子育てを支援する子育てサロンがあり、そうした団体に対して、活動の際の会場費の補助を行う。また子育て支援を望む団体・個人が子育て支援人材バンクに登録し、育児サークルや子育てサロンに託児や、特技等でサポートを行う際の、コーディネートを行い、子育て環境の充実に寄与する。

【事業期間】平成26年4月1日～27年3月31日

【事業内容】

1) 育児サークル

- | | |
|--------------------------|------|
| ① 支援員派遣及び関係機関への連絡調整 | 6 件 |
| ② 地域子育て支援センターとの調整 | 38 件 |
| ③ 育児サークル訪問 | |
| ④ 合同イベント開催 (わんぱくフェスティバル) | |

日 時：平成 26 年 9 月 25 日（木）10:00～12:00

場 所：旭川市市民活動交流センター

参加者：310 名（保護者 160 名：子供 150 名）

- ⑤ 育児サークルの登録・解散に関する手続き
- ⑥ 会場使用料助成請求及び市へ年 2 回報告（会場費補助 24 件 207,770 円）
- ⑦ 相談業務

⑧ 事業説明会 日 時：平成 26 年 5 月 22 日（木）10:00～11:30

参加者：31 名

⑨ 意見交換会 日 時：平成 27 年 1 月 20 日（火）10:00～12:00

参加者：18 名

⑩ 月毎に市へ人材バンク活動実績報告

2) 子育てサロン

① 支援員派遣及び関係機関への連絡調整 7 件

② 地域子育て支援センターとの調整 18 件

③ 子育てサロン訪問

④ 会場使用料助成請求及び市へ年 2 回報告（会場費補助 5 件 91,200 円）

⑤ 子育てサロン新規立ち上げ等その他相談業務

⑥ 事業説明会 日 時：平成 26 年 6 月 2 日（月）10:00～11:30

参加者：27 名

⑦ 意見交換会 日 時：平成 27 年 2 月 20 日（金）10:00～12:00

参加者：19 名

3) 子育て支援人材バンク

① 登録・退会に関する手続き業務

② 子育て支援人材バンク派遣調整及び相談業務

③ 子育て支援人材バンク登録者講習会開催

日 時：平成 26 年 7 月 11 日（月）

日 時：平成 26 年 10 月 22 日（水）

（本年度は H26 年 3 月末日まで登録者にご案内）

4) 育児サークル・子育てサロンの支援に関するニーズ調査及び分析

【事業成果・課題】

1) 登録件数 育児サークル 26 件

育児サロン 21 件

子育て支援人材バンク 95 件

2) 利用件数 子育て支援人材バンク派遣 335 件

育児サークルは会員不足や会員の子供の低年齢化により活動内容が対応できなかつたりまた、子育てサロンはスタッフの高齢化もあり人手不足や参加者が少数のところもあり、それぞれ効果的な周知活動が必要と思われる。地域子育て支援センターは、遊びの伝授・指導もできるのでサークルやサロンなどで、支援センターの利用も選択肢として、検討されたい。現在サークルおよびサロンに、行政より会場費の補助があるが、上限が設けられており、活動に制約が生じるので上限を設けないで欲しいとの要望がサークルから出てきている。

■事業名 (北海道地域活動振興協会助成金事業)
まちづくり推進活動支援事業

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

旭川における温室効果ガスの排出量のうち 90%以上が二酸化炭素ガスによるものである。

特に家庭やオフィス、自動車など、民生家庭部門および民生業務部門の増加が他の部門より多く、当市では、平成 23 年 3 月に地球温暖化防止推進方針を定め、市民・事業者・行政が協働の元、より一層の二酸化炭素削減に取り組むことを定めている。温暖化防止対策について、各地で実践している先進的な取り組みや施策について市民、企業等が学び、実践へと促すことにより温暖化防止の一助とする。



【事業期間】

平成 26 年 11 月 29 日 (土) 13:00~15:45

【事業内容】

- 1) テーマ：日本の未来はどうなる！今が選択の時
- 2) 1 部：基調講演 講師：田中 優氏 (環境活動家・未来バンク事業組合理事長)
- 3) 2 部：シンポジウム
コーディネーター：田中優氏
パネリスト：平岡俊一氏 (北海道教育大学釧路校准教授)
パネリスト：谷口一弘氏 (旭川気象台土砂災害気象官)
- 4) 会 場：旭川市科学館
- 5) 参加者：80 名

■事業名 (公益財団北海道環境財団共催)
環境学習ゲーム体験会

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

環境ボランティアとして活動したい市民や、学校などで子供に環境教育を行う方々対象の体験会。環境についての楽しく学ぶことのできるツールとして、さまざまなゲームを開発してきた北海道環境財団の温暖化ふせぎ隊の講師をお招きして、ゲームの特徴や、やり方を市民の方に教示して活動に役立ててもらおう。

【事業期間】

平成 26 年 4 月 14 日 (土) 10:00~16:00

【事業内容】

- 1) 講 師：山本泰志氏・鈴木鮎美氏 (公益財団法人北海道環境財団)
- 2) 会 場：旭川市市民活動交流センター
- 3) 参加者：8 名

■事業名 (旭川市委託事業)
旭川市母子家庭等日常生活支援事業

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

様々な事由により、一時的に日常生活に支障が生じている場合や生活環境等の激変により、日常生活を営むのに特に大きな支障が生じている場合に、その生活を支援する者を派遣するなどして、母子家庭及び父子家庭の生活の安定を図ることを目的としている。

【事業期間】

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

【実施内容】

- 1) 依頼時の利用者と家庭生活支援員の生活援助及び子育て支援の連絡調整実施
- 2) 関係機関との情報交換、連携を図るための会議実施
- 3) 月毎に市へ報告及び利用料の申請実施
- 4) 家庭生活支援員資格者の手続き実施

【事業成果・課題】

- | | | | |
|-------------------|---------|------------|-----------|
| ① 利用者数 | 利用会員登録 | 44 名 | |
| | 家庭生活支援員 | 18 名 | |
| | 子育て支援員 | 45 名 | |
| ② 利用状況 (平成 26 年度) | 140 件 | (前年度 67 件) | |
| ・生活支援 | 60 件 | (前年度 50 件) | |
| ・子育て支援 | 65 件 | (前年度 7 件) | 児童数 121 人 |
| ・宿泊 | 15 件 | (前年度 9 件) | 児童数 28 人 |

本年度は前年度より 2 倍の利用があった。

ひとり親になり、生活の不安や子育ての不安を抱えている利用者も多く家庭生活支援員が心の支えも担っているところもあり、行政側の相談員はより一層支えて欲しいところである。また、依頼の内容によっては子育て相談課との相談により、旭川育児院やショートステイやトワイライトを利用した方がよいケースもあつたりし多様な依頼に関係機関との情報交換が必要になっている。また、本年度の生活支援はほぼ父子家庭への援助が占めており、今後も登録者の増加があることと思われる。行政にはこの事業のより一層の周知活動を行い父子家庭の生活不安を軽減することが必要と思われる。